

●東京都町村議会議員講演会（東京都） 金川 孝幸
令和7年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 「議員と住民の距離を縮めよう」～なり手不足から主権者教育まで～

講師 拓殖大学政経学部 河村和徳教授

成果

地方議員の定数を減らすべきという政治学者がいる＝議員の数はできる限り減すべきではない。何故なら議会は住民の縮図。住民の直接参加はできないので代表を選んでいる。

地方議員の数を減らすと行財政改革に大きく貢献するのか＝大きくは貢献しない。議員数は地方交付税の算定根拠になっている。また、副作用も大きい。地方議員の議員報酬は高すぎるという誤解がある＝都道府県や政令指定都市と町村は違う。地方議員には年金があるとか職業であると誤解されている。

なり手不足の原因は報酬だけでなく、選挙や制度に加え心理的な障壁などがある。地方議会には議論する場と議決する場の2つの性格があるので一定数の議員は必要。

住民との距離を縮めるには広報や住民説明会の見直しも必要。また、議員の実態を知ってもらう努力も必要。そのためには主権者教育は必要との研修内容でした。今後の議員活動に活かしていきます